

第1群  
No.100

## 特別講義 I：平和学

講師：塚本俊也

曜日・時間 木曜日 1限 (9:00~10:35)

初 回 4/16

期・時間数 1Q・10時間

テキスト 資料配付

本講義は、平和学（Peace Studies）の理論的枠組みを基礎としつつ、紛争後社会や大規模災害の現場における実践的経験を通して、「平和とは何か」「平和はいかにしてつくられるのか」を多角的に考察することを目的とする。特に、紛争・災害・ジェンダー・宗教といった視点から、現代社会における平和構築の可能性と課題を明らかにする。さらにSDGs（持続可能な開発目標）におけるグローバルな取り組みを通して、現代の問題に対する理解を深めることができます。

● 講師

つかもと としや  
塚本 俊也

山梨英和大学 学長

タイ国立マヒドン大学大学院健康社会科学部 修士課程修了（HIV/AIDS 予防教育）  
東京外国語大学大学院 Peace & Conflict Studies、青山学院大学大学院、大阪大学大学院の教授として紛争分析、人道支援、危機管理などの講義を行う。  
国際 NGO「ADRA Japan（アドラ・ジャパン）」日本支部長  
国際 NGO「Habitat for Humanity Japan（ハビタット・フォー・ヒューマニティ）」事務局長  
専門分野  
リスク・マネジメント／外国人防災対策／感染症危機管理／人道支援／紛争分析 など  
社会貢献・地域連携の実績  
ルワンダ・コソボ・東ティモール・アフガニスタンなどにおける紛争後の緊急支援・人道支援を経験  
阪神大震災をはじめ、能登、東日本大震災などにおける災害後の緊急支援と復興支援に取り組む。

● 講義予定

回	タイトル
1	平和学の基本概念と歴史
2	紛争とその影響、いまだにどうして人類は紛争するのか？
3	平和構築の理論とは何か？
4	社会的公正と平和
5	地域貢献とボランティア活動
6	日本でできるローバルな視点からの平和
7	ジェンダーと平和

第1群  
No.101

## 世界の文化

講師：井上征剛 山本明歩

曜日・時間 木曜日 2限 (11:05~12:40)

初 回 9/24

期・時間数 後期・20時間

テキスト 資料配付

(1) ヨーロッパおよび日本の近・現代の文化事象の考察（井上：第7回まで）、  
(2) 現生人類の特徴と文化との関連性、そして文化の変化についての考察（山本：第8回以降）の二本立ての講義によって、現代の日本に生きる私たちが豊かに生きていくための参照枠として、「世界の文化」を理解していきます。芸術家のイメージ、家庭と子ども、農耕文化、都市文化などを扱います。1年生の必修授業です。

第1群  
No.102

## 英語学概論

講師：星野真理

曜日・時間 火曜日 3限 (13:30~15:05)

初 回 4/14

期・時間数 前期・20時間

テキスト 『はじめての英語学』改訂版  
長谷川瑞穂編著 研究社 2,750円(税込)  
ISBN:978-4-327-40165-8

英語学（英語の言語学）の入門の授業です。英語ということばの輪郭と背景を身近なところから学びます。ことばや英語の歴史、英語の語源や意味、音声、英語の文章の成り立ち、コミュニケーションツールとしての英語などの視点から、英語とはどんな言語なのか、その特徴を理解しながら、英語という言語を深く考えるとともに、この先の自身の英語習得の課題や目標を見つける授業です。

第1群  
No.103

## 英語の文法

講師：星野真理

曜日・時間 火曜日 3限 (13:30~15:05)

初 回 9/29

期・時間数 後期・20時間

テキスト 資料配付

英語の文法を深く考察し、確かな英語力を培う授業です。特に、品詞や文の構造に注目して学び、これまで学習した英語の知識を運用力に変えることを目的とします。また、コミュニケーションツールとしての英語の視点から、理論とともに英語を使うことを実践したり、解釈や考え方をシェアします。

## 第1群 文学・文化・芸術

第1群  
No.104

### 日本の文学

講師：天野早紀

曜日・時間 木曜日 4限 (15:15~16:50)  
初 回 9/24  
期・時間数 後期・20時間  
テキスト 資料配付

上代日本文学のうち、最古の歌集である『万葉集』の歌を扱います。その中で、歌のことばのもつ意味内容のみならず文字表記という「形」の面からのアプローチによって直接意味を掴み取ることで、より深みのある読解を行うことをめざします。普段目にする漢字とかなで分かりやすく書き直された『万葉集』から一歩踏み出して、漢字で書かれた『万葉集』によって、歌とことばの世界を新たな視点から楽しんでみませんか。

第1群  
No.105

### 日本文化論

講師：天野早紀

曜日・時間 火曜日 5限 (17:00~18:35)  
初 回 4/14  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 資料配付

みなさんが古典文学を読むときには、教科書や文庫本や全集など、いずれも洋紙や西洋の製本技術によって作られた本を用いることが多かったとおもいます。ではそうした技術が輸入される以前の、江戸時代までの人びとは、どのような素材・形の本によって文学を読んでいたのでしょうか。本講義では、日本の古典文学をささえる和本の文化を学ぶことで、「テキスト」から得られる意味内容のみならず「形態」によって直接触れられるメッセージやその本が現在まで生きてきた歴史を体感する機会とします。またその中で、一般的な「和本=貴重書」という心理的な壁を取り払い（もちろん、文字通り「貴重」な和本もたくさんありますが）、古典文学と和本の文化に積極的に親しむことのできる意識を養成していきます。

第1群  
No.106

### 日本文学講読Ⅰ

講師：天野早紀

曜日・時間 木曜日 4限 (15:15~16:50)  
初 回 4/16  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 資料配付

上代日本文学、特に最古の歌集である『万葉集』の最終巻（巻第二十）に収められた「防人歌」を扱います。防人（さきもり）とは、古代の軍制の一つとして、九州地方の西海の辺境の防備にあたる兵役とその役について兵士（多くは東国出身の農民）たちです。本講義では、防人歌の一言では言い表すことができない（時には相反するようにも見える）性質を、実際に防人歌の読解を行いながら探求していきます。またその中で、文学と社会階層、公私、ハレとケ、個人と集団など、文学を鑑賞・研究するための多角的な視座を養成していきます。

第1群  
No.107

### 音楽史・音楽学

講師：井上征剛

曜日・時間 金曜日 4限 (15:15~16:50)  
初 回 4/17  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 資料配付

クラシック音楽のジャンルのひとつである「歌曲」について、音楽作品のしくみや、歌詞をどのように音楽で描くかに重点を置いて概観します。歌曲のしくみや作曲手法、ポピュラー音楽との接点、日本歌曲、連作歌曲、オーケストラ伴奏歌曲など、幅広いテーマで歌曲を分析しつつ鑑賞していきます。

第1群  
No.108

### 舞台芸術論

講師：井上征剛

曜日・時間 月曜日 3限 (13:30~15:05)  
初 回 4/13  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 資料配付

オペラを演出に着目して鑑賞する方法を、実際に触れつつ学びます。「オペラ演出」のさまざまな例を紹介した上で、ヴェルディ《椿姫》を例に、ふたつの演出を比較しながら、場面・音楽・物語・演出家の解釈などの観点から分析・考察しつつ鑑賞します。

第1群  
No.109

## 児童文学講読

講師：井上征剛

曜日・時間 月曜日 2限 (11:05～12:40)  
初 回 9/28  
期・時間数 後期・20時間  
テキスト 『この湖にボート禁止』  
ジェフリー・トリーズ著多賀京子訳  
福音館書店 825円(税込)

ジェフリー・トリーズの小説『この湖にボート禁止』(の日本語訳)を読みながら、この作品がさまざまな形で反映している、欧米や日本の児童文学でしばしば扱われてきたテーマについて学びます。最初に児童文学作品を読む際の基礎的な考え方について学び、次いで学生の発表と討論を中心に、この作品を章ごとに読みすすめていきます。

第1群  
No.110

## 比較文化・思想論

講師：井上征剛

曜日・時間 水曜日 3限 (13:30～15:05)  
初 回 4/15  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 『フランダースの犬』  
新潮文庫 ウィーダ著 村岡花子訳  
新潮社 440円(税込)  
ISBN: 9784102054017

ウィーダの小説『フランダースの犬』を読み、芸術家物語という観点から検討します。あわせて、関連した内容を持つ作品に文学・芸術のジャンルを問わず触れ、「芸術家を描くこと」「文学作品において芸術(を生業とすること)をテーマとして扱うこと」について考察します。文学作品だけでなく、「芸術(家)とはなにか」について、より深く考える機会になるでしょう。

第1群  
No.111

## 子どもと文化

講師：井上征剛 森稚葉

曜日・時間 月曜日 3限 (13:30～15:05)  
水曜日 4限 (15:15～16:50)  
初 回 9/28  
期・時間数 3Q・20時間  
テキスト 資料配付

子どもが生きる世界について、子どもが主体として表現した世界—心理臨床の場面(担当：森)と、子どもが鑑賞することを前提として、あるいは子どもが客体として描かれた世界—児童文学作品(担当：井上)とを取り上げ、多面的に子どもについて考察する講義です。

第1群  
No.112

## 多文化共生論

講師：三井さや花 根木英彦

曜日・時間 木曜日 1限 (9:00～10:35)  
初 回 4/16  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 資料配付

多文化が共生している世界の現状を踏まえ、その一端を瞥見し、そうした現状をどう受容し、その中でどう生きていくかについて、多角的・重層的に考える方法を探求します。講義やディスカッションなど、様々な形での授業を通じて、「他者を知る」ということ、そして「他者と共に生きる」ということがどのような事か問題提起をします。学んだこと、自分で調査したことなど、様々な知識をもとに、自分なりに「多文化共生」の在り方を考え、今後遭遇するであろう多文化共生的状況において冷静に分析・考察し、世界市民にふさわしい実践ができるようになるためのヒントを提示します。

第2群  
No.113

## 人間と文明

講師：山本明歩

曜日・時間 金曜日 3限 (13:30～15:05)  
初 回 9/25  
期・時間数 後期・20時間  
テキスト 資料配付

「文明」という言葉からどのようなものをイメージするでしょうか。人によっては「文明」という言葉にロマンを感じたり、あるいは高度な技術をイメージしたりするかもしれません。しかし、文明の発達によって様々な利便性がもたらされただけでなく、非常に多くの問題点も提示されています。この講義では、「文明」に焦点を当て、「過去にどのような文明があったのか」「現代社会における文明とはどのようなものなのか」といった問題を取り扱います。前半は諸文明を地域ごとに確認していきます。後半は環境、経済といった切り口から、様々な文明の様相を考えていきます。

## 第2群 人間・心理・社会

### 第2群 No.114 知覚・認知心理学Ⅰ

講師：須永範明

曜日・時間 金曜日1限(9:00~10:35)  
初 回 4/17  
期・時間数 1Q・10時間  
テキスト 「基礎から学ぶ認知心理学  
改訂版」  
服部雅史・小島治幸・北神慎司(著)、  
有斐閣、2,100円+税、  
ISBN 9784641151406

心の働きのなかでも、感覚・知覚、記憶、注意、思考、意思決定などをまとめて認知機能と呼びます。認知機能をひとことと言うと、ものごとを認識する働きのことです。知覚・認知心理学Ⅰ・Ⅱは、具体的な研究成果をあげて認知機能について解説します。知覚・認知心理学Ⅰ(この授業)では、感覚・知覚、記憶、注意について解説します。

### 第2群 No.115 知覚・認知心理学Ⅱ

講師：須永範明

曜日・時間 金曜日1限(9:00~10:35)  
初 回 6/12  
期・時間数 2Q・10時間  
テキスト 「基礎から学ぶ認知心理学  
改訂版」  
服部雅史・小島治幸・北神慎司(著)、  
有斐閣、2,100円+税、  
ISBN 9784641151406

心の働きのなかでも、感覚・知覚、記憶、注意、思考、意思決定などをまとめて認知機能と呼びます。認知機能をひとことと言うと、ものごとを認識する働きのことです。知覚・認知心理学Ⅰ・Ⅱは、具体的な研究成果をあげて認知機能について解説します。知覚・認知心理学Ⅱ(この授業)では、思考、意思決定、知識、潜在認知について解説します。

### 第2群 No.116 社会・集団・家族心理学Ⅰ

講師：須永範明

曜日・時間 水曜日5限(17:00~18:35)  
初 回 6/10  
期・時間数 2Q・10時間  
テキスト 資料配付

人間は、自分を取り巻いている状況の影響を強く受けて行動します。人間は群れで生きる動物ですので、他の人間たちに囲まれた状況で日々生活しています。他者や集団から個人がどのような影響を受けるのか研究している分野が、社会心理学です。この授業では、社会心理学と集団心理学の基礎的な知識を日常生活と関連づけながら紹介していきます。

### 第2群 No.117 社会・集団・家族心理学Ⅱ

講師：新居みちる

曜日・時間 木曜日1限(9:00~10:35)  
初 回 6/11  
期・時間数 2Q・10時間  
テキスト 資料配付

私たち個人のこころの在り様や態度・行動は、個人の気質・性格だけでなく、家族や地域などの育成・生活環境、学校や職場などの教育・社会環境、地域や国の文化や風土、政治・経済環境など多様で多層的な環境からも影響を受けています。本講義では、個人を取り巻く多様で多層な環境をどのように捉え、どのように心理的支援を行うのか、主に家族やカップルを通しての心理支援の理論モデルであるシステム論や、生活の場で支援を行っていくコミュニティ心理学の視点から、家族・集団及び文化が個人に及ぼす影響を視野に入れ、個人と家族・社会集団との関係性における諸問題や支援方法について学びます。

### 第2群 No.118 感情・人格心理学Ⅰ

講師：須永範明

曜日・時間 水曜日5限(17:00~18:35)  
初 回 4/15  
期・時間数 1Q・10時間  
テキスト 資料配付

感情・人格心理学Ⅰでは、主に感情心理学を扱います。感情は、個人の行動を特徴づける重要な要素のひとつであり、長きにわたり多くの研究がなされてきました。本授業では、これまでに蓄積された感情心理学の知見をもとに、感情に関する理論ならびに感情が行動に及ぼす影響について講義します。本授業は、受講生が感情の生物学的基礎・機能・発達・個人差を学び、感情心理学の知識をさまざまな場面に応用することができるようになることを目指し、授業を展開します。

第2群  
No.119

## 感情・人格心理学Ⅱ

講師：石橋泰

曜日・時間 月曜日 5限 (17:00～18:35)  
初 回 11/30  
期・時間数 4Q・10時間  
テキスト 資料配付

感情・人格心理学のうち、人格心理学（パーソナリティ心理学）を扱う。人格心理学は、心理臨床における人間理解の枠組みを提供するものであり、また教育場面、産業場面などにおいても人間理解のために活用されるものである。この講義では人格心理学の対象となる「人格（パーソナリティ）」の概念を理解した上で、具体的な人格理解の方法、代表的な人格理論、人格の形成と変化（発達）について概説する。具体的な理解を増進するために時間が許す限りで事例研究をもとに知識を使ってみることを行う。

第2群  
No.120

## 神経・生理心理学

講師：須永範明

曜日・時間 水曜日 4限 (15:15～16:50)  
初 回 4/15  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 資料配付

心と脳の関係は人間にとって深遠な謎です。生理心理学と神経心理学は、脳の働きが心の機能をどのように支えているのかを明らかにしようと努力を重ねています。この講義では脳の構造や働きのしくみから始め、感覚・知覚、記憶、喜びや恐れなどの情動、やる気、異常な体験など、心の世界全般に関わる脳の知識を解説します。心の世界を脳科学で読み解くための基礎を学びましょう。

第2群  
No.121

## 障害者障害児心理学

講師：中嶋彩

曜日・時間 月曜日 3限 (13:30～15:05)  
初 回 9/28  
期・時間数 後期・20時間  
テキスト 資料配付

この授業では、知的障害、発達障がい、精神障害、身体障害についての定義・現在の制度や今日的な障害福祉の理念や障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理、行動の特徴をについて、担当教員が一通り説明をしていきます。そしてそれぞれに必要な支援を心理学的視点に基づいて学んでいきます。さらに、障害者・障害児の支援の際の、地域におけるサポート体制について学んでいきます。

第2群  
No.122

## 経営学Ⅰ

講師：野村魁

曜日・時間 金曜日 5限 (17:00～18:35)  
初 回 9/25  
期・時間数 後期・20時間  
テキスト 資料配付

この講義では組織が目的を達成するための営みである「経営」について学ぶ。代表的な組織である「企業」とその戦略や組織管理、社会との関係性の中で果たす役割について、具体例を取り上げながら経営学の理論や概念を紹介する。

第4群  
No.123

## 知的財産権と情報倫理

講師：河本毬馨

曜日・時間 火曜日 5限 (17:00～18:35)  
初 回 4/14  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 資料配付

情報技術が発展し生活が便利になった現代においては、個人やグループが持つ様々な権利が侵害される事件も起こりやすくなっています。大事な権利を侵害される被害者/侵害する加害者にならないためには何に気をつけたら良いのでしょうか。この授業では、知的財産権を中心とした身近で重要な権利を学びます。前半では、不正競争防止法、著作権法、商標法、意匠法、実用新案法、特許法の内容を解説します。後半では、インターネットやAIなどが普及するに伴って考慮されるべきプライバシーなどの倫理的な問題を取り扱います。

第4群  
No.124

## 図書館サービス概論

講師：河本毬馨

曜日・時間 月曜日 5限 (17:00～18:35)  
初 回 9/28  
期・時間数 後期・20時間  
テキスト 資料配付

図書館は私たちにとって生涯にわたり最も身近な社会教育施設の一つです。この授業では、司書の視点から多様な図書館サービスが果たす役割や考え方を理解し、利用者の視点からそれらのサービスを使いこなせるようになることを目指します。資料・情報提供サービス、児童・成人・高齢者・外国人などの利用者別サービス、著作権、サービスに係る他機関との連携などについて概説します。

## 第4群 キャリア・資格・特技

第4群  
No.125

### ドイツ語 1

講師：井上征剛

曜日・時間 金曜日 2限 (11:05~12:40)  
初 回 4/17  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 『ドイツ語の時間〈話すための文法〉』改訂版  
清野智昭著 朝日出版社 2,420円(税込)

ドイツ語の初歩を学びながら、ドイツ語圏の社会や文化の一端に触れます。アルファベット（アルファベット）から始まり、基本的な文法事項を把握し、簡単な文やフレーズを理解して、ドイツ語の生の教材（パンフレットなど）を読めるようになることが目標です。

第4群  
No.126

### ドイツ語 2

講師：井上征剛

曜日・時間 金曜日 2限 (11:05~12:40)  
初 回 9/25  
期・時間数 後期・20時間  
テキスト 『ドイツ語の時間〈話すための文法〉』改訂版  
清野智昭著 朝日出版社 2,420円(税込)

「ドイツ語 1」に引き続き、ドイツ語を学びながら、ドイツ語圏の社会や文化の一端に触れます。より複雑な文法事項や文の読み方を学ぶとともに、少し早めに、効率よくドイツ語を読む練習をします。自己紹介など、自分でドイツ語の文章を書く練習や、少し長めの文章を読む練習もします。日本語にない「話し方・考え方」を経験する機会にもなるでしょう。

第4群  
No.127

### ヨーロッパの社会と文化 A

講師：井上征剛

曜日・時間 金曜日 3限 (13:30~15:05)  
初 回 4/17  
期・時間数 前期・20時間  
テキスト 『ドイツ語の時間〈話すための文法〉』改訂版  
清野智昭著 朝日出版社 2,420円(税込)

「ドイツ語 1・2」の応用編です。まとまった長さのドイツ語の文章を読みながら、ドイツの社会について認識を深め、あるいは文化により濃密に触れます。政治と選挙、環境、グリム童話、旧東ドイツ、音楽、絵画、児童文学、地方都市紹介などを扱います。ドイツ語をある程度学んだ人が対象です。